

市場事業部門

外国為替・デリバティブ・債券・株式等の
市場性商品を通じたソリューション提供を
はじめ、バランスシートの流動性リスクや
金利リスクを総合的に管理する
ALM業務を行っています。

執行役専務
市場事業部門長
宗正 浩志



市場事業部門は、グローバルに様々な情報を収集・分析してシナリオを構築し、短期・中長期的な市場トレンドを的確に見極めることで景気サイクルを収益化する、マーケットのプロフェッショナル集団です。

また、戦略事業領域のひとつである「セールス&トレーディング業務の収益力強化」の担い手として、より多くのお客さまにご満足いただくことを目標に、これまで培ってきたマーケット知見を最大限活用し、ソリューション提供力の強化を図っています。

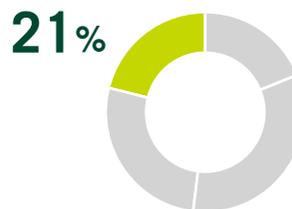
加えて、SMBCグループの海外ビジネスをしっかりと支えるため、安定的かつコストを意識した効率的な資金繰りを実施する役割も担っており、引き続き投資家層の拡大や調達手段の多様化に取り組んでいきます。

2018年度の振り返り

市場環境の変化が激しい中、米中通商問題の深刻化に先んじたリスクリバランスを実施する等、機動的なポートフォリオ運営により収益を計上し、業務純益は前年比64億円増の2,985億円、ROEは31.8%となりました。

セールス&トレーディングは、外国為替関連の取引が堅調に推移しました。これは、お客さまの様々なニーズにお応えすべく、質の高いソリューション提案を追求することで、多くのお客さまにお取引いただけた結果だと考えています。

連結業務純益に占める割合



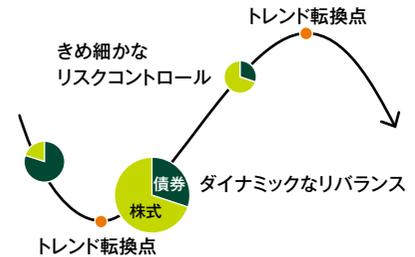
	2018年度	前年比*1
業務粗利益	3,336億円	+48億円
経費	542億円	(4)億円
(経費率)	16.2%	(0.4)%
業務純益	2,985億円	+64億円
ROE*2	31.8%	+1.4%
リスクアセット*3	4.9兆円	(1.2)兆円

*1 金利・為替影響等調整後 *2 規制強化を踏まえたリスクアセットに基づく内部管理ベース。またバンキング勘定の金利リスク見合いを含まず *3 現行規制ベース

重点戦略

■ マーケット変化に応じた機動的なポートフォリオ運営

各国のディーラーが議論を重ね様々なシナリオを想定することで、先見性を磨きリスク・リターンの最適化を図っています。いかなるマーケット変動に対してもその変化の兆しをプロアクティブに察知し、大胆かつ確かなオペレーションによって収益機会を捉えています。

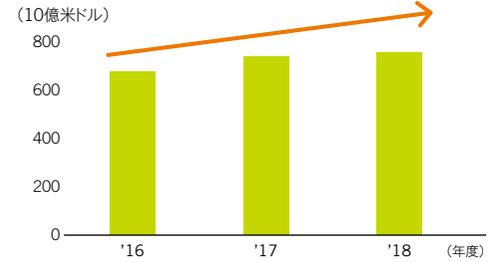


■ 市場性商品を通じたソリューション提供～セールス&トレーディング業務～

マーケットに依存しない収益の柱を作ることを狙いとして、セールス&トレーディング業務を強化します。具体的には、お客さまのヘッジや運用のニーズにお応えべく、国内外のプロダクトセールス部隊の連携強化や外国為替・デリバティブ・債券・株式等の市場性商品のラインアップ拡充等を実施しています。

中期経営計画の最終年度も、ソリューション提供力の強化を通じてお客さま満足度のより一層の向上を図るべく、引き続き体制整備を行ってまいります。

外国為替取扱高推移



■ 外貨調達力の強化

2018年度は、定期的な外貨建債券の発行に加え、本邦初となるカバードポンドを発行し、投資家層の拡大と調達手段の多様化を図りました。また、足許では調達コストを意識して中長期の円投を増やす等、外貨調達のベストミックスを追求しています。

引き続き、SMBCグループ全体の海外ビジネスを支えるべく、安定的かつコストを意識した質の高い外貨調達を推進するとともに、国際金融規制にも対応した適正なバランスシート・コントロールを実現していきます。

中長期円投による調達額推移



SDGsへの取組



グリーンボンドの発行

グリーンボンドは、調達した資金の使い道を再生可能エネルギー等の環境に配慮したプロジェクトに限定した債券で、この発行を通じ、環境ビジネスの推進や環境負荷の軽減に貢献しています。2018年12月には、本邦民間企業として初めて、個人のお客さま向けにも発行しました。

日本を代表するグリーンボンド発行体として、市場の更なる発展と地球環境の維持・改善に貢献していきます。



▶ SMBCグループのSDGsへの取組については、P76をご参照ください。